



# WEEKLY REPORT

## 郡上八幡ロータリークラブ



ロータリー：  
変化をもたらす

国際ロータリー第 2630 地区  
東海北陸道グループ

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)  
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：西川 昇  
副 会 長：村土時男  
幹 事：岩尾 誠  
広報委員長：森下 光  
会報担当者：國田大雄・前田伊三夫

2017 年度国際ロータリー会長：イアン・ライズリー (Sandringham ロータリークラブ・オーストラリア)  
2017 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー：変化をもたらす)

### <本日のプログラム>

第 2547 回 平成 30 年 3 月 1 日 第 1 木曜日  
会員卓話 田代東次郎会員  
羽田野優男会員

### <次回の予定>

第 2548 回 平成 30 年 3 月 8 日 第 2 木曜日  
職場例会 地域包括支援センター  
社会福祉士 鈴木雅秀様

### <前回の記録>

第 2546 回 平成 30 年 2 月 22 日 木曜日  
外来卓話 郡上エネルギー(株)  
代表取締役 小森胤樹様

司 会 進 行	西村 肇 SAA
点 鐘	西川 昇会長
ソ ン グ	それこそロータリー
来 客 紹 介	國田大雄会員 郡上エネルギー(株)代表取締役 小森胤樹様

出席報告 畑中伸夫担当責任者

会員数	出席	補正	合計	出席率
39 名(免除 2 名)	30 名	3 名	33 名	89.2%

### ニ コ ボ ク 廣瀬泰輔担当責任者

・郡上エネルギー(株)代表取締役 小森胤樹様、本日の卓話、よろしく申し上げます。 西川 昇  
・小森様、卓話よろしく申し上げます。 岩尾 誠  
・郡上エネルギー(株)小森様、本日はお忙しいところ有難うございます。 村土時男  
・郡上エネルギー(株)代表取締役小森様、お忙しい中、当クラブへおいでいただきありがとうございます。本日の卓話、よろしくお申し上げます。  
羽田野優男・平岩憲政・廣瀬泰輔・岩出明喜  
河合 修・川井昭司・國田大雄・松本英樹  
松森 薫・三原慎也・森下 光・村井義孝  
西村 肇・野田三津雄・小笠原正道・酒井智義  
坂本 仁・竹内巧治・田代東次郎・渡邊 剛  
山川直保・山下友幸

### 幹 事 報 告 岩尾 誠幹事

・ガバナー事務所より、今年度「クラブビルダー賞」及

び「意義ある業績賞」推薦のお願い

- ・ガバナーエレクト事務所より、「2018 年地区研修・協議会」開催の案内  
4/14(土)11 時 30 分～ 長良川国際会議場にて
- ・次期ガバナー補佐より、次年度ガバナー公式訪問の日程と IM 開催日決定のお知らせ  
公式訪問…7/18(水) 白鳥町ふれあい創造館にて  
IM…11/11(日) 各務原市内にて
- ・美濃 RC より、グループ内一泊幹事会の案内
- ・美濃・関・各務原・各務原かかみの RC より、例会変更の案内

### <拝受>

- ・宇佐八幡 RC より、週報
- ・岐阜県環境生活部より、「人権だより No. 72」
- ・岐阜県赤十字血液センターより、「ぎふ献血ナビ第 30 号」

### I D M 報 告 三原慎也会員

テーマは広報についてでした。議題提供者の森下広報委員長より、クラブの活動を今後も新聞に掲載して頂き、地域の人々に広報をしていきたい、そうしたことが会員増強にもつながるのではないかとのことでした。

### 会 長 の 時 間 西川 昇会長

先週、新会員候補者 2 名を発表しましたが、本日までに異議申し立てはありませんでしたので、推薦者は入会に向けて話を進めて下さい。会員が増えるとクラブの活動が活発になり、その活動を広報することによって、クラブの知名度が上がる、それによって会員増強がしやすくなると思います。田山ガバナーの「未来を創造しよう、10 年後のロータリーは」というテーマにつながると思っていますので、今後とも新会員の推薦をして頂きますようよろしくお願いします。

代表取締役 小森胤樹様



本日は「地域電力の仕組みで地域経済の新しい仕組みを作る」ということとお話をさせていただきます。

その前に、自己紹介をさせていただきますが、2002年31歳の時に、林業の現場で働きたいと大阪からやって来ました。

2012年、雇ってもらった林業会社の代表となり、2013年に郡上割り箸を設立、その会社は現在もそのままやっていますが、2016年郡上エネルギーという会社を立ち上げるために林業会社を退職しました。2015年には、白鳥町に森林空間を活用し、ワイヤーを張って森の中で遊ぶという「冒険の森」を誘致しました。ということで、現在は、郡上割り箸で木製品事業、郡上エネルギーで森林管理エネルギー事業、冒険の森で森林空間活用事業を行っています。

林業を始めて15年、現場で森林整備して丸太を生産するだけでは、一般市民に伐って使うことの重要性を伝えられないとスギの割り箸を作って販売を始め、また郡上における木質バイオマスの有効な利用方法は何かと郡上市の委員になって考え始めました。林業をやっているから木質バイオマスで発電事業をするのか、どうも違うと思いました。2年半前になります、ドイツの林業を1週間かけて見てきました。白鳥町にペレットを販売している所があり、ホームセンターなどでも販売していますが、ドイツではペレットの工場から車にペレットを積んで各家庭まで運びます。あと、日本では産業廃棄物になるチップを、ドイツでは行政が回収して地域に燃料として流通させています。各家庭で出た剪定木を行政が回収してチップにしているのです。このような林業を見て来て郡上に発電所を作っても、経済的にすぐに回らないだろうということがあります。なんで林業をやっている人間が電力を扱うのかということですが、2年前の電力自由化により、電気を買う方からエネルギー事業にコミットしようと思いを立ち上げました。私の中では、林業もエネルギーもやろうとしていることは同じだと思っており、最近その答えとなる言葉を知りました。経済学者宇沢弘文氏の「自然環境・社会的インフラストラクチャー・制度資本は社会的共通資本」という言葉です。資本主義経済にお金が儲かる儲からないだけでやっているのだめということで、私は林業と同じ方向性を持ってやっていかなければと思いました。

郡上エネルギーという会社で何を実現したいのかというと、地域内循環を実現したいということです。ここで、電力自由化についておさらいしますと、2000年3月に大規模工場やデパート・オフィスビルなどの特別高圧が、2004年4月・2005年4月に中小ビルや中小規模工場の高圧が、そして2016年に家庭や商店の低圧が自由化になりました。そして、2020年には大手電力も発電・送電・小売が分社化されます。電力自由化になって何が変わるのかというと、基本、電気料金が安くなりま

す。国が規制緩和するのはそのためです。では、とにかく安くなればよいのか。それではまたこれまでの資本主義経済と一緒に、大手に吸い取られるだけだと思いますので、私は地域にどうやってお金を歩留まりさせるかをやりたいと思いました。

先ほどの地域内循環についてですが、漏れバケツ理論というのがあります。郡上市の人口が毎年約500人ずつ減っている、入ってくる年金・給料・補助金も減っていく一方です。入ってくるお金を外に出さないように栓をする仕組みを作っていないと、地域内経済は活性化しません。私は、郡上エネルギーという会社を通じて、エネルギー代が外に出ていかに栓をしたいと思っています。地域内循環とは、地域内乗数効果が高ければ高いほど地域経済は回っているといえます。例えば同じ100万円を獲得しても、市外の業者に発注するよりも、市内の業者に80%で3回発注すれば、乗数の効果で3回目には結局市内で動いたお金が500万くらいになるということです。言葉を変えれば地産地消です。地域にあるものを市外の店で買うのではなく、市内で買おうということです。

私ども郡上エネルギーは、皆さんにエネルギーを当社から買って頂くことで、皆さんが今まで当たり前払っていたお金がいったん郡上に入るということです。そして将来的には、地域の方々に出資をして頂いて、再生化のエネルギーを増やしていきたいと思っています。そしてそれを地域に設置する時は、多少高くても地域内の業者に発注するというです。

そこで、皆様には是非とも代理店になって頂くようお願いしたいと思います。それぞれのご商売の中でのお客様に電気料金の切り替えを勧めて頂くことで、ご商売上のつながりと、相手のエネルギー代が地元に着るという仕組みを作りたいと思います。このような仕組みは、すでにヨーロッパやアメリカなどでは始まっており、ドイツ語でシュタットベルゲと言います。本当は行政出資があればよいのですが、それを待っているとなかなか進まないのでは会社という形にしましたが、このような会社は地方自治体から出資をもらってエネルギー事業だけをやっているのではなく、公共交通・市民プール・リサイクル事業などの受け皿になっており、エネルギー事業で出た利益を赤字部門に回すことによって、事業体そのものを黒字にするという仕組みです。ドイツではかなり進んでおり、大手電気会社4社が電気を供給しているのは全国民の50%で、残り半分は千を超える地域のエネルギー事業体が供給しています。

最後に私どもの会社のロゴマークは、八幡小学校向かいの、以前中電の事務所があった所の横にある、100年前にできた発電所の記念碑に刻まれたものです。およそ100年前に地域に電気会社が必要だったことを、これからの郡上のために、郡上エネルギーを通じてやっていかなければという思いです。まずは、皆さんの会社の電気の見積もりをさせていただきますので、よろしくお願い致します。

